

申請日: 令和7年9月18日

①学校名:	帝京大学 大学(私立)		②所在地:	東京都板橋区加賀2-11-1	
③課程名:	医療技術学研究科看護学専攻博士前期課程 診療看護師(NP)コース				
④正規課程／ 履修証明プログラム:	正規課程(修士)	⑤定員:	看護学専攻 10名	⑥期間:	2年間
⑦責任者:	教授 下川 智樹		⑧開設年月日:	令和7年4月1日	
⑨申請する課程 の目的・概要:	クリティカル・ケア領域において高度な診療能力と看護実践能力を発揮できる診療看護師の養成を目指したコースである。高度先進医療に対応し、倫理的な視点とプロフェッショナリズムを重視し、患者の権利と尊厳を尊重する姿勢を育成する。さらに、教育・研究面でも指導的立場として活躍できる人材の育成を目標としている。				
⑩10テーマへの 該当	1 女性活躍	3 中小企業活性化	5 環境保全	7 医療介護 <input checked="" type="radio"/>	9 起業
	2 地方創生	4 DX	6 就労支援	8 ビジネス等	10 防災危機管理
⑪履修資格:	①大学を卒業した者または、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者 ②日本の看護師免許を有する者 ③専門分野での5年以上の看護職としての実務経験があること				
⑫対象とする職 業の種類:	看護職(病棟、外来、訪問看護ステーション、デイケア等)				
⑬身に付けること のできる能力:	<p>(身に付けられる知識、技術、技能)</p> <ol style="list-style-type: none"> 患者の全人的なケアを実践するための倫理的判断力とコミュニケーション能力 高度な臨床知識と技術を修得 クリティカル・ケア領域での実践力 自己学習能力と研究能力を高める <p>(得られる能力)</p> <ol style="list-style-type: none"> 高度な専門知識と技術を実践できる能力を有する。 複雑な医療状況において適切な臨床判断と問題解決を行うことができる。 患者中心のケアを提供し、医療チームの一員として効果的に協働することができる。 継続的な学習意欲と自己研鑽の姿勢を持ち、医療の進歩や変化に対応する能力を有する。 				
⑭教育課程:	看護倫理や診療看護師実践により、患者の全人的なケアを実践するための倫理的判断力とコミュニケーション能力を育成し、ろう孔管理やドレーン管理などの専門的な講義と実践的なトレーニングにおいて、高度な臨床知識と技術を修得する。また、クリティカル・ケア領域での実践力を強化するために、診療看護実習Ⅰにおいてシミュレーション教育や臨床実習を行い、自己学習能力と研究能力を高めるために、課題研究において研究報告書の作成を通じて、実践的な研究活動を行う。				
⑮修了要件(修了 授業時数等):	必修73単位(共通科目28単位、専門科目40単位、研究科目5単位)を修得し、かつ必要な研究指導を受け、特定の課題における研究の審査及び最終試験に合格すること。				
⑯修了時に付与さ れる学位・資格等:	学位:修士(看護学) 資格:一般社団法人 日本NP教育大学院協議会が実施する診療看護師試験の受験資格				
⑰総授業時数:	77 単位	⑯要件該当 授業時数:	74 単位	⑯要件該当授業時数 ／総授業時数:	96.1 %
⑱該当要件	企業等 <input checked="" type="radio"/>	双方向 <input checked="" type="radio"/>	実務家 <input checked="" type="radio"/>	実地 <input checked="" type="radio"/>	
⑲成績評価の方 法:	レポート、筆記試験、口述試験等の成績を総合的に判断する。なお、科目によっては講義への参加(積極的な発言・討論への参加)等を含めて評価する。 実習は実習指導者および教員による評価、レポートの内容評価、模擬患者からの評価を総合的に判断する。 課題研究は課題研究に対する取組み、発表会における到達度を評価する(課題研究報告書、発表、口頭試験)。				
⑳自己点検・評価 の方法:	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する。具体的には、各キャンパスにおける「自己点検・自己評価委員会」のもと、教育、研究を定期的に点検・評価している。これらを取りまとめとして、約4年ごとに大学全体の「自己点検評価書」を作成し、本学HPにて公表している。				
㉑修了者の状況に 係る効果検証の方 法:	完成年度を迎えていないが、修了後にアンケート等を行い、在学中に学んだことがどのように身につき、自身または職場で活用できているかを検証する予定である。				

<p>⑬企業等の意見を取り入れる仕組み:</p>	<p>(教育課程の編成) 実技試験(OSCE)に外部評価者を含めて実施することにより、客観性・公平性を確保している。さらに教育課程においても、外部有識者の意見を取り入れる仕組みを設け、教育課程の編成については医療技術学研究科委員会にて諮る。</p>
<p>⑭社会人が受講しやすい工夫:</p>	<p>(自己点検・評価) 外部委員を含む研修管理委員会を開催し、教育課程および実習内容について自己点検・評価を行っている。これにより、客観的視点を踏まえた質保証と継続的改善を図っている。</p>
<p>⑮ホームページ:</p>	<p>https://www.teikyo-u.ac.jp/faculties/medicine_tech/nursing</p>